

石橋文化センターの楽水亭

久留米大学留学生別科

けやき組 222BD02

羅文丹

1. はじめに

私は 2022 年 10 月に中国から久留米に来た。そして、現在、久留米大学留学生別科で日本語を勉強している。

私が住んでいる久留米は静かで、田園風景や山々があって、自然の景色が豊かなところだ。そして、久留米の四季の景色を見るには、石橋文化センターという場所がある。去年の秋、石橋美術館の前を歩いて中の景色に惹かれて、思わず入ってしまった。ちょうど夕方で、夕日が噴水に映り水面がキラキラしていた。バラの茂みを通して、ワンダーランドのような一群の紅葉が一望できる。驚いたことに、その後私が訪れるたびに現れる草花はみな違った。桜、チューリップ、梅、つばき…後から知ったのだが、この庭園は四季を表しているそうである。そこには「楽水亭」と言われるカフェとギャラリーがあって、中で座ってアフタヌーンティーを飲んだり、デザートを食べながら、まるで絵巻物のような庭園景色を一望することができる。

石橋文化センターに併設されている「楽水亭」を訪れる人が少ないと思った。それで、楽水亭のカフェやギャラリーを紹介したいと思い、修了レポートのテーマとして選び、インタビューを行った。

2. 背景

石橋文化センターは久留米市野中町にあり、久留米大学前から 9、8-1、1 番のバスに乗る。約 20 分後、石橋文化センターで降りる。入場料は無料であり、庭園は年中無休である。

石橋文化センターのホームページによると、石橋文化センターは、1956(昭和 31)年に株

株式会社ブリヂストンの創業者である石橋正二郎・名誉市民から郷土久留米市に寄贈された。庭園に併設される「楽水亭」は、日本庭園を望むカフェ&ギャラリーショップである。「楽水亭」という名前は、建設・寄贈者であり、株式会社ブリヂストンの創業者である石橋正二郎氏の揮毫「楽山愛水」に由来しているということだ。

3. インタビュー

2023年12月26日に楽水亭の原田さんにインタビューをした。質問と答えは次の通りである。

質問1：年中「楽水亭」では何かイベントをやっていますか。

答え1：いろいろやっています。一番目は春の四月の終わりから五月の「バラフェア」です。

質問2：このイベントは何をするのですか。

答え2：バラのいっぱい咲く前でコンサートをしたり、店内はバラの商品でいっぱいになります。カフェではバラのケーキを出したり、料理もバラにちなんだお料理を出しています。

質問3：季節限定メニュー以外、他のメニューは変更されていませんか。

答え3：変更はほとんどないです。季節メニュー以外はほとんど同じものを出しています。

質問4：コロナの時期、「楽水亭」にどのような影響がありましたか。

答え4：コロナの時期は本当に人が少なかったです。私はコロナの時期に入社したんですが、本当にお客様が少なくて、今、一番お客様が少ない時期ですが、これが一年中このような状態が続いて従業員も一か月ぐらい店を閉めて休んだりしました。

質問5：一年でお客様が多い時期はいつですか。

答え5：一番多いのはやはり一番メインの春のバラのフェアの時期です。

質問6：今までで記憶に残っているお客様や出来事がありますか。

答え6：思い出すとしたら、久留米餅は安い商品もありますが、洋服はわりと値段がします。バッグは四万円もします。楽水亭で一番高額なのは葡萄の蔓のバッグですが、高いから悩みに悩んで家に帰った後、やはり購入したいとわざわざ電話して購入された方もいます。バラが好きな方は全身バラの服を着て、バラの商品をたくさん買ったお客様もいます。

インタビューをする前は、「楽水亭」は一般的なスイーツ店だと思っていたが、今回のインタビューを通じて食事するところだけでなく、景色を見ながら心穏やかになれる場所でもある。また、季節の中でバラフェアの時期が、一番人気であることもわかった。さらにコロナで店の営業に悪い影響を与えていたこともわかった。

4. 考察および提案

石橋文化センターには美術館、音楽ホール、図書館と日本庭園があり、その中にある「楽水亭」というカフェ&ギャラリーショップは、一抹の彩りを増していると思う。また、季節によって異なる限定スイーツが登場し、味も見た目も非常にユニークで、心惹かれる。しかし、スイーツは季節限定だけでなく数量も限定している。そのため、紅葉シーズンやバラシーズンの時期は、文化センターに来る人が多くて、数量限定のデザートはすぐ売り切れて食べられずに帰る人もいる。そこで、季節限定のスイーツの数を増やしたらどうだろうか。そうすれば、お店の売上げが上がるだけでなく、お客様の心も満足するのではないだろうか。

5. まとめ

今回のインタビューを通じて、「楽水亭」のイベントと季節限定メニューについて知ることができた。特に原田さんの紹介で春は、一番賑やかな時期であることがわかった。バラ園での演奏会もあり、実際に私も聞く機会があり、うっとりした。また、バラをモチーフにしたスイーツやモニュメントもあり、人々を憧れさせる。春と秋はバラと紅葉が美しいので、楽水亭に行って、季節限定のスイーツを食べながら、窓の外の景色を鑑賞してほしい。

参考文献

石橋文館センター <https://www.ishibashi-bunka.jp/shisetsu/rakusui.php> (2024年1月6日閲覧)



写真1 原田さん
(2023年12月26日撮影) 許可あり



写真2 「楽水亭」の「素朴な月夜」
(2023年12月26日撮影) 撮影許可あり



写真3 「楽水亭」窓の外の景色
(2023年12月26日撮影) 撮影許可あり



写真4 石橋センター 冬のバラ 2023年
(2023年12月26日撮影) 撮影許可あり